

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2025年 3月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・十分なスペースを確保している。 ・十分な部屋数を確保している。	・引き戸にがたつきがある。 ・事業所内に多目的に使える広めのスペースがあるとベストチョイスだった。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・常に職員は、子どもたちのことを目を離さないで、見守れるようにしている。 ・職員は、常に基準定数以上に配置している。	・さらに、より良いサービス提供ができるように、職員の増員へ向けて、職安等へ募集の働きかけをしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・支援室は、表示と名称をつけて利用者に分かりやすいようにしている。 ・利用者の希望に沿って、支援室の利用の仕方は柔軟に対応するようにしている。 ・ポーチの石段と玄関、階段には、手すりを設置してある。	・一部バリアフリーになっていないところがある。 ・車椅子対応のトイレはない。 ・玄関の扉の開く方向とポーチの階段の手すりの位置が反対側にあると良い。 ・借家なので制約があり改良工事は難しい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・子どもたちの受入れ前後には清掃、消毒、整理整頓に努めている。 ・支援室は5室用意してある。子どもたちがそれぞれの活動に合わせて使用できるようにしている。 ・支援室は、子どもたちが選択して使えるようにしている。	・所内に多目的に使える広めのスペースがあるとベストチョイスだった。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・No.4同様。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・毎日の打合せや定期的な会議で職員の参画ができるようにしている。 ・記録簿の回覧や伝言板を用いて情報の共有化を図っている。	・非常勤職員への情報の共有化が課題である。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者から評価をもらっている。いただいた評価や意見を業務運営に反映させている。 ・全職員で改善点について話し合い、改善策を出している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎朝のミーティングで打合せをし、確認をしている。 ・意見表出を促している。 ・各自、適宜、改善点を出している。 ・当事業所職員の運営参画意識は高い。 ・スピーディな対応に努めている。 ・管理者による職員との個別の面談を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		・第三者による外部評価は行っていない。 ・委員の選考が難しい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員へ、出かけての研修やオンライン研修を案内している。 ・研修は出張扱いとし、費用は法人がもつことを原則としている。 ・研修後は全職員で伝達講習会を実施して、研修内容の共有化を図っている。	・研修会は、曜日や時間帯によって、参加が難しい場合が多い。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6					

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の観察や記録、打合せでの振り返りによって確認している。 ・保護者から提供される発達検査等の結果を参考にしている。 ・個別に見直ししながら、その子に合った対応を心掛けている。 	・標準化されたものは使用していない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			・他機関など外部からの情報が必要である。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員で話し合って決定している。	・活動の目標、目的、内容の具体化や個別化を一層、図れると良い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用している子どもの特性に配慮して、硬直化や偏りが生じないようにしている。 ・外部講師の招聘と活用をしている。 ・リトミック・バステルアート・エアロビックス教室などを取り入れたり、複数の公園を利用しての野外活動を取り入れたりしている。 ・長期休業中には、体験的な活動を多く計画し取り入れている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別的な活動と集団的な活動を取り入れている。 ・利用している子どもの特性に配慮して、硬直化や偏りが生じないようにしている。 	・評価の明確化が大切である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・適切な支援ができるように打合せをもって	・チーム力をさらに発揮できるよう、個々の具体的な達成可能な目標、内容や方法の設定、分担などを、もっと高められると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	・毎朝、前日の振り返りと当日の打合せ、確認をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の送迎がある。 ・勤務時間の都合上、終了後の職員打合せは困難である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・記録は取っている。 ・記録を、日々の支援活動にいかんにか反映させていくか。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・日々の些細な日常活動でも自己選択、自己決定の機会を設けるように配慮している。	・自己選択・自己決定を促すような意図的な支援を全職員が意識できるように支援力を高めていく必要がある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・主に児発管が出席している。 ・担当者制は取っていない。 ・全職員が、誰でも出席できるような支援力、情報力を身に付けられるようになると良い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用している子どもについて、学校との連携会議をお願いしている。 ・地区の包括センターと情報共有をお願いしている。 ・保護者を介して利用児の関係機関からの情報をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部だけの支援体制。 ・関係機関との連携が今後とも必要である。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・利用している子どもについて、学校との連携会議をお願いしている。	・学校からの情報共有に不足しているところがある。 ・保護者からの情報提供をお願いしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・小学校入学前や入学直後に、就学前に利用していた機関、小学校、保護者を交えた会議の開催をお願いしている。	・情報共有は一部の利用者にとどまっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・移行支援計画については承知している。 ・移行支援計画の準備はしている。	・まだ該当者、移行者や卒業生がいない。 ・今後、必要になった場合は支援していく必要があることを承知している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	・研修の機会確保や必要に応じたスーパーバイズをお願いをしている。	・児童発達支援センターと提携はしていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・近隣の複数の公園を利用している。 ・地域の子どもたちと一緒に活動することがある。 ・公共の施設を利用した活動を定期的に行っている。	・地域他児との交流を図っていない。 ・計画的には行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・開催通知があった場合は、積極的に参加させてもらっている。	・出席後の全職員への情報の伝達と共有化が必要である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者との情報の共有に努めている。 ・個々に連絡帳を利用して当日の様子や予定について情報を共有している。 ・送迎時に保護者との情報の共有に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・案内のあった研修会等は、増し刷りをしてお知らせをしている。	・ペアレントトレーニングは行っていない。 ・家族参加の行事や研修会は行っていない。 ・家族が参加しやすいように、土・日・祝日に行事を行うことは、勤務上難しい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・利用開始前にお知らせしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・利用開始前のアセスメント時に保護者から情報の提供、確認をしている。 ・連絡帳や引き渡しの時に情報の交換をお願いしている。 ・支援計画の見直し面談時に確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・窓口を設けて、対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	・父母の会は設けていない。	・現事業所開設の折にアンケートを取ったところ、設置を望まない保護者がいましたので、そのままにしてきました。 ・開設から満5年が経ちました。 ・保護者会設置について、保護者の皆様のご意見を、もう一度、伺ってみようかと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・全職員が傾聴に努め、迅速に対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・HPや配付物で発信に努めている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、運営していた事業所では積極的に地域の方々を招いて行事、交流会を行った。 ・地域の一部の住民とは交流をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との積極的な交流はしていない。 ・事業所の設置地域によって、住民との関係性は異なる。 ・事業所側から地域への働きかけや出かけていく取組みが必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・発生を想定した訓練は、避難訓練のみ行っている。 ・作成した計画や取り組みについて、確認と定期的な見直しをしていく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・作成した計画や取り組みについて、確認と定期的な見直しをしていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前のアセスメント時に保護者から情報の提供、確認をしている。 ・症状や投薬量にも変化があった場合は、速やかな情報の提供をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等から連絡があった場合には、職員間で速やかに情報の共有に努めている。 ・短時間勤務者を含めた全職員への速やかな伝達と対応を含めた情報共有が課題である。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用を開始する前のアセスメント時に、保護者へ確認をしている。 ・変化があった時には、速やかな情報提供をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ該当者はいない。 ・該当者が出た場合は、必要な対応をする必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した計画や取り組みについて、確認と見直しをしていく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画や取り組みについて、家族へ十分に説明をしていく必要がある。 ・支援計画の見直しの折など、定期的に保護者へ確認してはどうかとの提案が保護者よりあった。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での共有を図るように職員へ報告を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設以来、ヒヤリハット事例は、一件である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を実施したことは、まだない。 ・保護者へ、どのような場合に実施するか的事前説明を、十分に行う必要がある。